



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:101 平成22年9月15日

…つばやきサロン…

戦争のさなか、希望の灯をありがとう「先生」

私は父の仕事の関係で東京で生まれ育った。太平洋戦争からの国策として行われた「学童疎開児童」の体験者でもある。

新潟県北条村の西方寺でのくらしは淋しさ、悲しさ、ひもじさの連続であり、毎日報道される東京での被災に家族の安否に一憂する日々であった。

私は学生の頃、人文地理学を専攻した。その発展として「大きな地球を歩くわたしの小さな旅」を続けている。「世界の異なった風土と人間と教育」がこの旅のテーマである。

その原点は学童疎開先での「地理の学習」にあることは否めない。

「今は戦争で外国とのいききはできないけど、貴女達が大人になったとき世界は平和になっていて、誰でもが自由に世界の国々といききができるようになっていていると思うよ。早く戦争が終わるといいね。」とは当時の担任のことばだ。

お寺の本堂、大雪に囲まれた薄暗い学習室、裸電球のもと地球儀をくるくる回しながらのメッセージであった。「大きくなったら外国に行ってみよう」幼い私の心の奥のつばやきにも似た灯でもあり、希望でもあった。

暗い世情の中、緊迫した戦争末期の「地理の時間」の先生のことばは、その後の私の進



路や生き方に多大のインパクトをもたらしたと思う。子どもに向けた教師のことばの重さ、明日のいのちも定かではない戦中の学びの場で「灯」を灯してくれた先生、「ありがとう」。

異国の風土に触れるたびにもらえる私のつばやき。

教師の道を50数年、「子どもにとってインパクトを与え得る師であったか」自問自答の日々である。

元小学校長 九州栄養大非常勤講師 松井明子

第105回・サポートセンターの日/2010・8・25

★NPO発表会★

世界は一つ。認め合うこと、助け合うこと
～様々な角度から見る国際協力・国際理解～



ベトナムまごころプロジェクト

代表 ^{マツシタ} 松下 ^{マサカズ} 真和さん

私は以前青年海外協力隊として、パプアニューギニアでボランティアをしていました。その経験を踏まえて援助の在り方を自分なりに考えるようになったところ、メディアを通してベトナムの現状を知りました。ベトナムは1986年の市場経済の導入以降、経済成長が著しくGDP成長率は7%～8%を維持しています。一方、この急速な経済発展の裏で、「貧富の拡大」、「ストリートチルドレン問題」、「障がい者福祉の遅れ」、「少数民族の社会からの孤立」といった社会問題が起こっています。実際現地に行き、こうした現状を目の当たりにして、何か自分たちにできることはないかと考えました。その後同じ志を持ったベトナム人3名と出会い、先ずは行動しようと「ベトナムまごころプロジェクト」を立ち上げたのが丁度1年前です。

すでに日本の賛助会員さんと協力して、現地のNPOがケアしているストリートチルドレンの里親制度支援を行っており、16名の里子が当団体を通して奨学金支援を受けています。里子から里親さんに手紙を送ったり、写真のやり取りをしたりして、交流を深めています。また、彼らが職業訓練コースで作成した製品の販売を日本でを行い、支援金として活用しています。まだ現地調査・情報収集を行う段階ですが、どこからの支援も受けていない地域を対象に奨学金支援プロジェクトも計画中です。この奨学金は、少数民族の子どもたちが幼稚園に通うための学費や、教会で行う無料授業などの教育支援活動の資金に充てられます。その他、不定期で現地の子どもたちに古着、文房具、刺繍道具等を寄附する活動も行っています。

ベトナムは社会主義国家で、言論や結社の自由がありません。そのため、本当に支援を必要としている人たちになかなか手が届かないのが現状です。活動はなかなか思うようには進みませんが、『どれだけ多くの人を支援したか』ではなく、『目の前の一人の存在に対して、きちんと気持ちを込めて向き合い、分かち合う』という考えを大切に、自分たちにできることを実践していきたいと考えています。

特定非営利活動法人多文化共生センター北九州

理事長 ^{キム} 金 ^{リョンスン} 令順さん

私たちが、「多文化共生センター北九州」を立ち上げて1年が経ちました。この1年間の活動を通して、「多文化共生」についてより多くのことを考えるようになりました。そもそも日本人や外国人という定義は何なのでしょう。

現在日本には218万6千人もの外国人がいます。60人に1人が外国人です。また、17組に1組が国際結婚であるとされています。日本にずっと住んでいても日本国籍を持つ者もいれば、そうでないものもいる。それぞれが置かれた環境で生まれ育ち、それぞれ独自の文化を育んでいます。日本の中でも東京で育った人と北九州で育った人は違うのではないのでしょうか。それは外国人であっても同じです。外国人が増え、それを取り巻く環境が多様化する現代で、一口に日本人・外国人と二分できるような単純な話ではないと感じます。日本人であれ、外国人であれ、個々人の出会いが多文化との出会いであるとを感じる事が大切なのです。勿論「多文化共生」という、お互いの違った部分を尊重し合い認め合うことは、容易なことではありません。まずは、日本人と外国人が隣に座り、知ることです。私たちは、そんな場を作ることに取り組んでいます。

現在は、外国語としてではなく隣の言葉として言語を学ぶ『隣語(りんご)学園』や多文化の子育て支援を行う『多文化親子サークル』を常時開催しています。また初めての試みとして、青少年を対象にした『多文化共生キャンプ』や、『東アジア移住共生映画祭2010』を、他のNPOや大学、北九州市と協働して実施することができました。私たち自身は一つのNPOとしてはまだまだ力不足ですが、北九州は土地柄もあり、同じ思いを持った優秀なメンバーが揃っています。他のNPOや行政と力を合わせて色々なことに取り組むことで、国籍・性別・年齢に関係なく“共に地域を担う市民”として、北九州地域で多文化共生社会を実現していきたいと思っています。

イベント

◆◆障害者の人権学習ワークショップ 障害者が歩けば差別に当たる！？

身近な体験や出来事を出しあって、当事者、家族そして支援者、いっしょに「差別って何だろう」ということについて考えてみませんか。

○日時：10月14日（木）13:00～16:30

○会場：東部障害者福祉会館 研修室6AB（戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階）

○お問合せ先：特定非営利活動法人 自立生活センターふるーむ（担当：高松）

TEL 093-562-5431 FAX 093-583-3257

Eメール cil-bloom@nifty.com

<http://genki365.net/gnkk03/pub/sheet.php?id=27720>



助成金情報

支援情報タイトル	支援分野	主催	締切
「地球にやさしいカード」による助成事業	環境	財団法人 緑の地球防衛基金 地球にやさしいカード係	9/30（木）
平成23年度 日本万国博覧会記念基金事業	環境	独立行政法人 日本万国博覧会記念機構 総務部基金課	9/30（木）
平成23年度 万博公園賑わい創出支援事業	環境	独立行政法人 日本万国博覧会記念機構 総務部基金課	9/30（木）
社会福祉事業研究開発基金	福祉	社会福祉法人 社会福祉事業研究開発基金 助成申込係	9/30（木）
2010年度アユスNGO支援 ・「パートナーシップ事業支援」 ・「NGO人材支援」	国際	特定非営利活動法人 アユス仏教国際協力ネットワーク	9/30（木）
子どもたちの ” ころを育む活動” 募集	子ども	財団法人パナソニック教育財団内 「ころを育む総合フォーラム 全国運動事務局」	9/30（木）
財団法人伊藤忠記念財団 「子ども文庫功労賞」	子ども	財団法人 伊藤忠記念財団	10/31（日）
2010年度公益信託 北九州青少年健全育成基金「積木の箱」	子ども	社団法人 北九州青年会議所内 「積木の箱」係	10/31（日）
「第14回 地球倫理推進賞」	環境・教育 文化・医療 その他	社団法人 倫理研究所 「地球倫理推進賞」事務局	9/30（木）
Yahoo!基金 NPO助成プログラム	問わない	Yahoo!基金 NPO助成プログラム	9/30（木）

※詳細は当センターのホームページに掲載しております。

また、当センターの助成金コーナー（ラック）には紙ベースでの情報を設置しております。

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. NPO法人を設立するにはどれくらいの期間がかかりますか？

A. NPO法人を設立するには、定款や役員名簿などの必要書類を添付した所定の申請書を所轄庁（原則として、団体の事務所が所在する都道府県の知事）に提出し、設立の認証をしなければなりません。所轄庁では、申請を受理すると、公告（県公報への登録）・縦覧（2ヵ月月間の一般公開）の手続きをとるとともに、申請の内容が法定要件に適合しているか否かについての審査を行ったうえ、原則として4ヵ月以内に認証又は不認証を決定します。なお、不認証の場合は、その理由を付した書面で通知します。設立の認証を受けると、それから2週間以内に、団体の主たる事務所の所在地を管轄する法務局（登記所）で設立の登記（費用不要）をすることによって、はじめて法人として成立します。

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成22年7月31日現在

	申請受理数 (含む申請中)	認証数 (現在数)
都道府県	38,761	37,311
【福岡県】	1,406	1,372
内閣府	3,409	3,199
全国計	42,170	40,510



北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成22年8月31日現在

	受理数 (認証数+現在申請中)	認証数 (現在数)
【北九州】	263	256

※北九州市のNPO法人の申請・認証状況欄の受理数には、解散・撤回・転出数は含まれません。

アンケートのお礼について

キラキラ8月号へ同封しました「自主・自立的な市民活動に関するアンケート」へ数多くのご回答をいただきありがとうございます。いただいた回答・意見等は、今後の市民活動支援の参考にさせていただきます。

なお、アンケート結果をキラキラネットへ掲載していますので、よろしければご覧ください。

「サポの日」の企画提案団体 大募集！

当サポートセンターでは、毎月25日を「サポートセンターの日（通称：サポの日）」とし、市内の市民活動団体の活動発表や意見交換等を実施しています。NPO法人やボランティア団体の、活動内容を市民の皆様にご覧いただくため、また、団体相互の交流をはかるために行っています。今回は市民団体からの企画を募集します。活動発表をするのはもちろん、参加型の講座やワークショップなど、形態は問いません。内容やテーマも提案してください。

【実施日時】 11月以降のサポの日（11月26日、12月24日、1月25日の18:30～20:00）

【応募団体】 サポートセンター登録団体（北九州市内のNPO法人や市民活動・ボランティア団体等）

※登録していない団体はこの機会に登録申請をしませんか？

【申込方法】 下記提出書類を郵送、FAX、メールまたは持参して下さい。

サポの日の趣旨に沿うものをこちらで選定させていただきます。

【提出書類】 団体のリーフレット・パンフレット・講座チラシ等 企画・運営の内容が書かれた企画書（形式は自由でA4、1枚程度）★団体の活動内容を知らせる趣旨、団体相互の交流を図る趣旨に沿った提案をお寄せください。サポートセンターが広報します！！

広報活動
します！

- ★市政だよりへの情報掲載
- ★登録団体へメールニュースでの情報発信
- ★ニュースレター「キラキラ」への情報掲載
- ★ケーブルテレビの取材を受けることもあります。



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜日・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。
※要予約（最大3時間）

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日 《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》
【休館日】9月30日（木）10月28日（木）

編集後記

沖縄転勤から7年ぶりに北九州に友人が戻ってきました。積もる話で面白かったのが、沖縄独特の名前の話。友人は役所の中にある銀行の窓口でパートをしていた時、名前を呼ぶ機会が度々あったそうです。「〇〇さん」と普通に呼んでも、クスクスと笑い声ばかりが響いていて、返事が返ってこない。案の定、名前の読み方が、全く違い、直ぐに自分が内地出身とばれたそうです。ちなみに沖縄の名字ベスト10は1.比嘉 2.金城 3.大城 4.宮城 5.新垣(あらかき) 6.玉城(たまき) 7.上原 8.島袋 9.平良 10.山城になるそうです。で、読めない代表格は仲村渠(なかなだかり) 喜友名(きゆうな) 謝花(じゃはな) 喜屋武(きやん) 今帰仁(なきじん) 東風平(こちんだ) キリないです…。byパクン